

科目名称：	音楽表現研究Ⅰ	
担当者名：	上野 高裕、水上 和子、ほか非常勤講師	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
クラス単位の授業担当と同じ教員によるピアノの授業を行ない、習熟度と現場表現実践力の向上を目指す。また、大短連携事業の一つである「KINJOおやこひろば」での試みの可能性や、楽曲研究の時間としても活用する。		
授業の達成目標・到達目標		
現場での表現内容・手段の蓄積、指導案の計画と記述の上達、器楽・歌唱表現の実践力の向上を目指す。		

幼児教育学科		ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し、子ども・保護者・地域住民との良好な信頼関係を築いていくことができる。		
DP(2)	保育・幼児教育を取り巻く様々な問題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、変化する社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。		
DP(3)	保育・幼児教育の分野において、基礎知識を身につけるとともに、使命感、倫理観、責任感をもって専門的な知識や技能を修得し、これらを柔軟に活用していくことができる。		○

評価方法／ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
幼児教育DP(1)					0
幼児教育DP(2)					0
幼児教育DP(3)			30	70	100
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
なし	《内容１》	《経験年数１》
	《内容２》	《経験年数２》
	《内容３》	《経験年数３》
	《内容４》	《経験年数４》
備考		

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
ピアノ演奏技術	楽曲を楽譜通りに暗譜をして、正確に演奏することが出来る。	楽曲を楽譜通りにほぼ暗譜をして、正確に演奏することが出来る。	楽曲を楽譜通りに、楽譜を見て演奏することが出来る。	練習不足でミスが多く曲の途中で止まらないように努力を要する。
課題の進め方	楽曲研究に意欲的、自発的に取り組んでいる。	楽曲研究に丁寧に取り組んでいる	楽曲研究に、ほぼ取り組んでいる。	楽曲研究に取り組む努力を要する。

授業の内容・計画		事前事後学修の内容	事前事後学修時間（分）
第1回	授業ガイダンス・概要説明、グループ説明とグループ割り、練習時間調整他	シラバスを読んでおく	40分
第2回	ピアノ曲の課題＋保育実習に向けて①	ピアノ曲の練習＋実習で取り組む曲の選定をしておく	60分
第3回	ピアノ曲の課題＋保育実習に向けて②	ピアノ曲の練習＋実習で取り組む曲の練習をしておく	60分
第4回	ピアノ曲の課題＋保育実習に向けての実践発表	ピアノ曲の練習＋実習で取り組む曲の見直しをしておく	80分
第5回	ピアノ曲の課題＋KINJOおやこひろばでの実践に向けて①	ピアノ曲の練習＋おやこひろばで取り組む曲の選定をしておく	60分
第6回	ピアノ曲の課題＋KINJOおやこひろばでの実践に向けて②	ピアノ曲の練習＋おやこひろばで取り組む曲の練習をしておく	60分
第7回	ピアノ曲の課題＋KINJOおやこひろばでの実践に向けて③	ピアノ曲の練習＋おやこひろばで取り組む曲の練習をしておく	60分
第8回	ピアノ曲の課題＋KINJOおやこひろばで実践演習	ピアノ曲の練習＋おやこひろばで取り組む曲の練習をしておく	80分
第9回	ピアノ曲の課題＋実践演習の振り返り	ピアノ曲の練習＋実践演習の体験をまとめておく	60分
第10回	ピアノ曲の課題＋8月実習に向けて①	ピアノ曲の練習＋実習で取り組む曲の選定をしておく	60分
第11回	ピアノ曲の課題＋8月実習に向けて②	ピアノ曲の練習＋実習で取り組む曲の練習をしておく	60分
第12回	ピアノ曲の課題＋8月実習に向けて③	ピアノ曲の練習＋実習で取り組む曲の練習をしておく	60分
第13回	ピアノ曲の課題＋8月実習に向けての実践	ピアノ曲の練習＋実践のまとめをしておく	80分
第14回	ピアノ習熟度確認（プレゼンテーション）①	ピアノ曲の練習をしておく	90分
第15回	ピアノ習熟度確認（プレゼンテーション）②	ピアノ曲の練習をしておく	90分
事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント（小レポート）をまとめることになる。			
成績評価の方法・基準			
定期試験は、実施しない。その他の評価配分は、以下のとおりである。			
ピアノ課題の習熟度と楽曲研究の取り組みで評価 習熟度70％ 研究課題30％			
課題に対してのフィードバック			
実習に向けた取り組みや、大短連携事業での実践、また楽曲研究の途中経過をチェックして返却する。その後の研究に立ち会い指導を加え、完成させる。			
教科書・参考書			
各楽曲の楽譜等のプリントを配布			